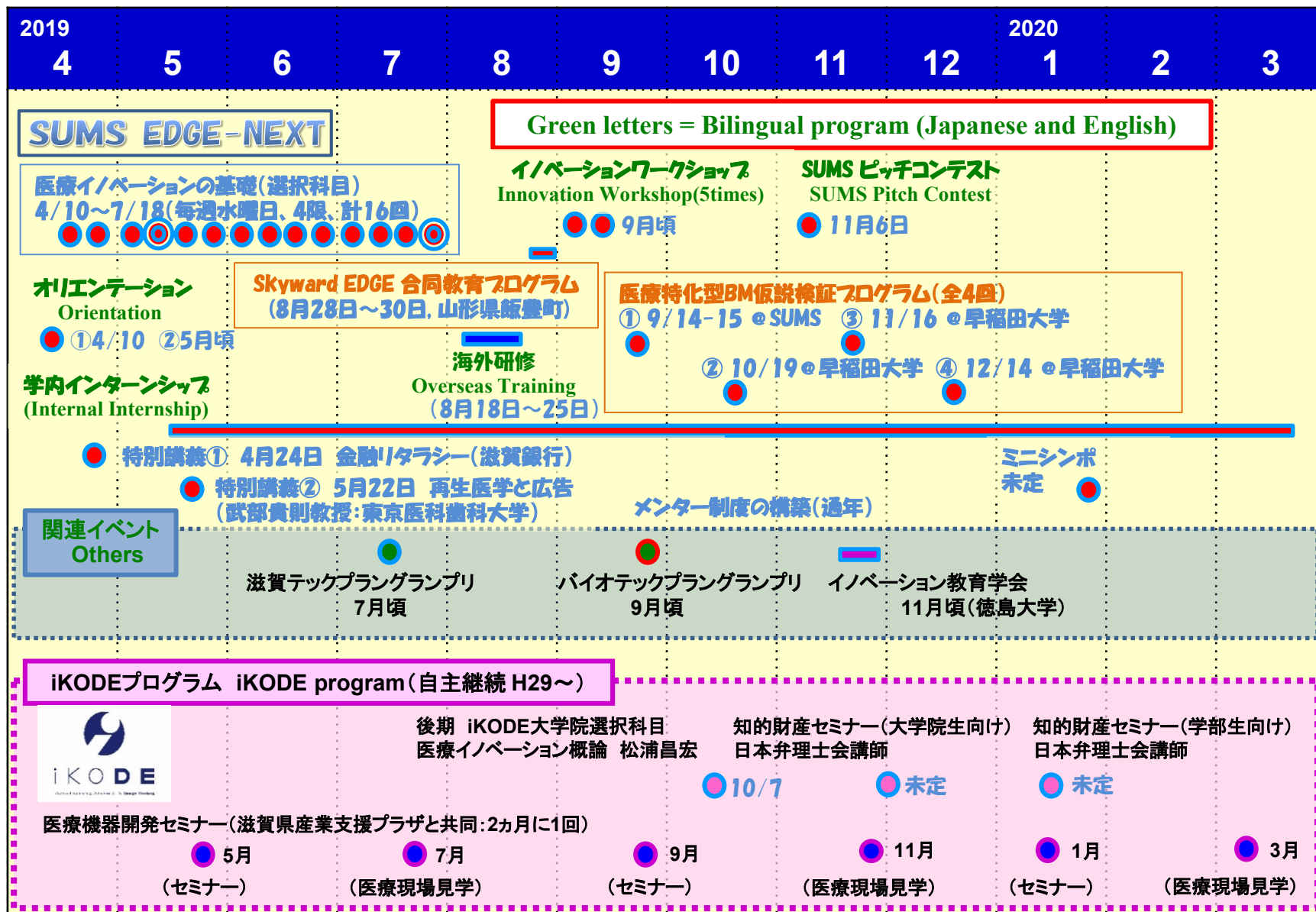


2019年 SUMS EDGE-NEXT スケジュール

Schedule in 2019



2019年 イノベーションワークショップ

昨年度の例



EN Skyward SUMS EDGE-NEXT

文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)
「EDGE-NEXT人材育成のための共創エコシステムの形成」

イノベーション・ワークショップ Innovation Workshop

ピッチコンテストで優勝しませんか?
Don't you win a prize in the SUMS pitch contest?

参加方法 Application Outline

Applicant 応募者
滋賀医科大学に在籍する教職員・学生を代表者とするチーム (又は個人)
Team (or individual), representative person is a faculty member/student at Shiga University of Medical Science

App. Period 申込期間
2018年9月8日(土)、9日(日) 2日間
10時～17時まで
On 8th (Sat) and 9th (Sun), September 2018
10:00 to 17:00 each day (2 days)

How to apply 参加方法
下記メールアドレスまで、所属、氏名を連絡してください。
Send an e-mail with your name and position to the following mail address.

Lecturer 講師
神戸大学大学院 工学研究科 道場「未来社会創造研究会」
祇園 景子 特命助教
Keiko Gion, Assistance Prof.
Creative Dojo, Engineering Dept.
Kobe University



参加費無料

概要 Outline

イノベーション創出に向けて、システム思考×デザイン思考で、「新しい価値」を生み出す考え方、手法、ノウハウを実践的なワークショップを通じて体系的に学ぶことができます。

11月8日(木)に予定されているSUMSピッチコンテストへのエントリーを考えている方には絶好の機会です。自分達のアイデアをブラッシュアップして優勝を目指しましょう!

You can systemically learn the thinking methods, techniques and know-hows to create a 'new value' through the system and design thinking for innovation.

This is a golden opportunity for applicants who are going to entry the SUMS Pitch Contest held on 8th November. Let's brush up your idea for the win!

開催場所: バイオメディカル・イノベーション施設
Place: Biomedical Innovation Center



- ◆ 予定期間:
8月の土日 2日間(調整中)
- ◆ 場所: 滋賀医科大学
バイオメディカル・イノベーションセンター
- ◆ 定員: 15名程度
- ◆ 参加方法: 事前申し込み
- ◆ 講師: 神戸大学 祇園景子特命助教
- ◆ 内容
システム思考×デザイン思考で、「新しい価値」を生み出す考え方、手法、ノウハウを実践的なワークショップを通じて体系的に学ぶ。



【エントリー・お問い合わせ】
研究戦略推進室 産学連携推進部門 松浦 昌宏 (内線 2936)
【Submission and Contact】
Masahiro Matsuura, Ph.D.,
Special Contract Professor, Research Strategy Promotion
Office (Ext. 2936, E-mail: m18matsu@belle.shiga-med.ac.jp)



2019年 Skyward EDGE 合同教育プログラム

- ◆ 予定期間: (2泊3日)
 - 8月28日(水)13:00—18:00 (泊)
 - 8月29日(木)9:00-18:00 (泊)
 - 8月30日(金)9:00-17:00
- ◆ 場所: 山形県飯豊町(いいでまち)
- ◆ 参加者: 本学から5名程度(付添教員1~2名)
他大学(早稲田、東京理科、山形)からも
各大学4~5名の学生が参加
地元の企業や住民の方 数名
飯豊町役場の方 数名
- ◆ 申込方法: (正式案内は近日中にWebで)
- ◆ 選抜方法: 同上
- ◆ 費用: 旅費・宿泊費は事業費から支出
(現地での食費は自己負担)
- ◆ 内容(講師: 東京大学名誉教授 堀井秀之先生他)
i.schoolの手法を用いて、飯豊町の地域活性化を促す
ビジネスアイデアを創造する。
【各大学からの混合チーム(1チーム4名程度)を構成】

事前研修の例



2019年 医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム

昨年度の例

回数	主題	内容	スキル構築の仕掛け
第1回 2019年 9月14日(土) ～15日(日) 於 滋賀医大	革新的な医療機器・サービスのアイデアの発案	・デザイン思考の講義・基本ワーク ・医療従事者へのヒアリングによる医療機器等の発案演習	人間中心に革新的な製品・サービスのアイデアを発想する手法の基本学習と実践
第2回 2019年 10月19日(土) 於 早稲田大	医療機器の事業化に特有の基礎知識の学習	・医療機器の専門家による医療機器に関する基礎知識の講義 ・専門家へのアイデアピッチとフィードバック	医療機器特有の知識の習得
第3回 2019年 11月16日(土) 於 早稲田大	ビジネスモデルの構築 (早稲田BCC科目「ビジネスモデル仮説検証」への合流により実施)	・ビジネスモデルキャンパスの講義 ・リーンスタートアップの講義 ・ビジネスモデルの初期仮説の構築演習 ・顧客等インタビューの模擬演習	・ビジネスモデルを設計するための手法の基本学習 ・宿題：ビジネスモデルの検証のための調査とインタビュー（20件程度）の実践
第4回 2019年 12月14日(土) 於 早稲田大	ビジネスモデルの検証結果の発表と相互ディスカッション 総括と振り返り (早稲田BCC科目「ビジネスモデル仮説検証」への合流により実施)	ビジネスモデルの検証結果の発表と相互フィードバック	・ビジネスアイデアの発表を通じたピッチ力の向上 ・他人のアイデアを客観的に聴取して助言提供することによる手法理解の深化



本講座が目指すロールモデル：Thomas Fogarty

当時成功率が5%程度しかなく多くの命が失われていた血栓除去手術をなんとか改善するために、医師として自らが医療機器を構想。現在ファクトスタンダードとなっている「カテーテル」を生み出した。その後多数の医療機器を発明するとともに現在は医療機器のためのベンチャーキャピタルも経営する。

<講師>

講師（アイデア発想、ビジネスモデル仮説検証）

講師（医療機器専門家）



堤 孝志
ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社代表取締役



飯野 将人
ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社代表取締役



高田 祥三
早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 教授



吉中 勇人
滋賀医科大学 臨床研究開発センター助教

<コーディネーター>



松浦昌宏
滋賀医科大学 研究戦略推進室 産学連携推進部門・特任教授



島岡 未来子
早稲田大学研究戦略センター 准教授

- 応募にあたっての留意事項：
 - ・全日程参加が必須です。
 - ・事前にチームを組む必要はありません。個人で御参加ください。
 - ・事前にビジネスアイデアを準備する必要ありません。
 - ・宿敵の大学の参加者同士のチーム編成を行います。

プログラムの詳細、お申込みはこちらから⇒



http://waseda-edge.jp/event_detail
2018?id=20180616

■ 共催：滋賀医科大学SUMS EDGE-NEXT 早稲田大学WASEDA-EDGE 人材育成プログラム

WASEDA-EDGE人材育成プログラム

WEBSITE <http://www.waseda-edge.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/wasedaedge>

参加者は、早稲田大学、山形大学、東京理科大学、滋賀医科大学の学生と社会人で最大25名程度です。

滋賀医科大学からの参加者は5名程度の定員で、交通費と宿泊費（必要と認めた場合）は支給されます。



2019年 海外研修(カナダ・オタワ大学)

- ◆ 予定期間: 8月18日(日)～25日(日)(6泊8日)
- ◆ 参加者: 受講生4名(付添教員1名)
- ◆ 申込方法: 参加動機、抱負の英作文(A4用紙1枚)
- ◆ 選抜方法: 申込者が多数の場合は、上記英作文を複数の教員で採点し、上位5名を選抜
- ◆ 費用: 旅費・宿泊費は事業費から支出
(現地での食費は自己負担)
- ◆ 講義・実習内容(Prof. Hanan Anis他)
 - ① デザイン思考、イノベーション発想法
 - ② 3Dプリンター等でのプロトタイピング
 - ③ Arduinoやモバイル端末のプログラミング
 - ④ Virtual Reality技術の講義と実習
 - ⑤ 学生起業家等との意見交換
 - ⑥ 英語でのプレゼンテーション実習

昨年度の例



2019年 SUMSピッチコンテスト

昨年度の例



文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)
EDGE-NEXT人材育成のための共創エコシステムの形成

SUMS ピッチコンテスト SUMS PITCH CONTEST

学生の学生、教員、職員が、事業化・実用化を目指したアイデアを発表します！
同僚・先輩・後輩が考えたプランを是非聞きに来て下さい。
Students, faculty and staff of our university will present ideas for commercialization and practical use! Please come and listen to the plan that our colleagues are thinking.

日時: 2018年11月8日(木) 17:00 ~ 19:15
場所: 臨床講義室1
審査員: 坂本真一郎(総務/リバネス), 中谷吉彦(立命館大学), 木幡巖(木幡計器製作所), 滋賀医科大学
安田浩平(学長), 松末吉隆(理事), 小笠原一誠(理事), 永田啓(理事), 山本宏明(理事)

Date & Time: Thu, 8 Nov. 2018 17:00 to 19:00
Place: Clinical Lecture Room 1
Judge: Shinichiro SAKAMOTO (Leave a Nest Co., Ltd.), Yoshihiko NAKATANI (Ritsumeikan Univ.), Iwao KOBATA (President@KOBATA Inc.), Kohei SHIOTA (President), Yoshitaka MATSUSUE (Director), Kazumasa OGASAWARA (Director), Satoru NAGATA (Director), Hiroaki YAMAKI (Director) @SUMS

テーマ・チーム Themes & Teams

Testicles cooler - Mengistu (Shukare Mengistu Lemecha (Graduate student, Dialactology and endocrinology))	産学連携基礎のための医学再教育プログラム - ヴェリリウス(熊山裕(解剖学講座), 相見良成(基礎看護学), 伊藤 謙, 石田 宏仁(生理学講座))
より良いインスリン治療のためのデバイス開発 - K. M. Revolution (松井 克之(理学部理学))	未来のワクチン投薬 - イノベイション(三上 眞由 (医学科2年))
医療に役立つ安価多点気象無線計測システム - 元気モニタリング(松井 温哉 (医学科1年), 成瀬 延康 (生命科学講座(物理学)))	「ヘルシー(減塩)リップ」の開発 - ミライゲコフ(片寄亮, 成本 佑佳, 東さおり, 岡本 智子, 市川 瑞希, 荻田 美穂子, 吉松 直美 (臨床看護学講座))
FacelDを活用した脳梗塞早期発見アプリ - AVIATO (高畑 和香 (医学科5年), 大前 輝太 (医学科4年), 長尾 貴空 (看護学3年3組))	歯科口腔外科診療における日常の改善 - 世界中に(歯)ビネスを♪ (越野 伸也(歯科口腔外科))

【お問い合わせ】
研究戦略推進室 産学連携推進部門 松浦 昌宏 (内線 2936)

【Contact】
Masahiro Matsuura, Ph.D.
Special Contract Professor, Research Strategy Promotion Office
(Ext. 2936, E-mail: m18matsu@belle.shiga-med.ac.jp)




- ◆ 予定日時: 2019年11月6日(水)17時~19時
- ◆ 学内の教職員・学生からアイデア募集
日常業務や生活の中で気づいた課題を解決するアイデアを募集します。
- ◆ 最終選考に残った10チームのプレゼン
(1次選考は書類での選考となります。)
- ◆ 5分発表、2分質疑応答、1分入替
- ◆ 予定審査員: 学長以下、大学執行部

外部: 坂本真一郎(リバネス)

中谷 吉彦 (立命館大学)

木幡 巖(木幡計器製作所)

- ◆ 上位3チームを表彰
更なるブラッシュアップのため、希望者にはアドバンスコースの受講が可能

2019年 学内インターンシップ

昨年度の例



◆ 申込: 随時

◆ 募集: 2~3名

◆ 内容: 産学連携活動の補助

① 研究シーズ集、医療ニーズ集の作成

② 研究者、医療従事者へのヒアリング

③ セミナー・イベントの準備手伝い

◆ 時給: 1,000円(昨年実績)

◆ シフト: 週2~3日(3~4時間/日)

詳細は要相談

